



日本でも歯磨剤のフッ素濃度がようやく国際基準に！

「予防歯科」先進国のスウェーデンを始めとする諸外国では、歯磨剤に配合するフッ素の上限濃度は1500ppmですが、日本では長らく1000ppmでした。しかし、2017年3月に規制緩和が行われ、国際基準と同様の濃度のフッ素が配合された歯磨剤の販売が認められました。フッ素には、「歯垢の中の細菌の活動を抑え、酸が作られるのを抑制する」、「歯質を強化する」など、**ムシ歯の発生・進行を防ぐ作用**があります。また、フッ素の活用により、歯の表面に穴があった状態（ムシ歯）の一手手前である「初期ムシ歯」を健康な状態に戻す**再石灰化作用を促進**できることがわかっています。



- New!**
- フッ素配合
- 低研磨
- 低発泡
- 低香味
- ソフトペーストタイプ

高濃度の歯磨剤を使用して、効果的にムシ歯予防を！

チェックアップ スタンダード

135g 550円 受付で販売中

フッ素配合量が**1.5倍**になったことで、**ムシ歯予防効果がUP**しました。やわらかいペーストなので、口腔内のすみすみまでフッ素が広がります。泡立ちが少なく、やさしい香味なので、少量の水ですすげます。低研磨性なので、歯や歯肉にやさしい。

***6才未満のお子様へのご使用は控えてください。**

オススメの使用方法

- ① 歯科用ハブラシと同じ長さに Check-Upペーストをのせる。
- ② 口腔内をしっかりブラッシング。
- ③ ブラッシング後、軽く吐き出し、洗口は1回だけ。



歯磨剤を吐き出したあと、何度も口の中をすすいでしまうと、口の中に残るフッ素の量が少なくなってしまう。

そこで、**歯磨き後は約15mlの少ない水で5秒間程度ブクブクと1回だけすすぐことをおすすめ**します。また歯磨き後1、2時間は飲食を控えるとさらに効果的です。

寝ている間は唾液の分泌が少なくなり、口の中の自浄作用が低下するため、細菌が繁殖しやすい状態になります。なので、寝る前の歯磨きを習慣づけ、磨く時はフッ素配合の歯磨剤で丁寧に行い、ムシ歯予防を心がけましょう。

「初期むし歯ができてしまった！」と慌てて一時的にケアに気を遣うだけでは、フッ素の効果は十分に発揮されません。日々、口内の環境は変化し、脱灰（酸によって歯が溶けること）に傾くリスクは常にあります。だからこそ、毎日のケアでフッ素をしっかり取り入れ、定期的に歯医者で健診を受けることがムシ歯予防に繋がります。

スタッフブログ更新中★



当院は国際規格 ISO9001 の認証を取得しています。



かもめクラブ（2才児～対象）
親子セミナー（保護者向け）も
好評開催中♪